
2021(令和3)年度
重点強化型研究推進事業
募集要項

2020 年 7 月
龍谷大学研究部

I. 目的・趣旨

重点強化型研究推進事業は、龍谷大学又は龍谷大学短期大学部における先端的、学際的、独創的な研究の創出、促進、充実を図ることを目的とする。

これら目的を達成するため、本学の強みを生かした特色ある研究を基軸とし、先端的・学際的・独創的活動を通じて地域社会の発展に寄与する研究、全国的あるいは国際的な社会の発展に寄与する研究を選定し、その研究の基盤となる経費の一部を一定期間支援する。

II. 募集内容

1. 申請書提出期間

2020年10月12日（月）～2020年10月23日（金）16：45まで

2. 対象事業

本事業は、研究センターを組織してプロジェクト研究を行うこととする。また、当該研究センターの事業期間中は、人間・科学・宗教総合研究センター内の研究センターとして位置づけることとし、本事業の目的・趣旨に則り、以下の取組を対象とする。

- ①科学研究費事業、その他外部資金を受けた実績のある研究
- ②大学が政策的に掲げるテーマに合致した研究で、かつ次の各号のいずれかに該当する研究を対象とする。
 - (1) 本学の強みを生かした特色ある研究
 - (2) 独創的発想に基づいた研究
 - (3) 国の研究政策の動向を踏まえた研究

2021年度募集にかかる「大学が政策的に掲げるテーマ」については、以下のとおりとする。

「SDGs が掲げる 17 のゴール実現に向けた研究」

2015年に国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）の国際目標の理念である「leave no one behind（地球上の誰一人として取り残さない）」は、本学が築いてきた「建学の精神」の理念と共通するものであり、今後、本学においても重要視すべき社会的責務であると考えられる。

そこで、本学が研究を通じて社会的責任を果たすための一環として、SDGsとの関連についても重視することとし、「大学が政策的に掲げるテーマに合致した研究」として設定する。

「多様な分野と仏教をつなぐ研究」

本学は、「浄土真宗の精神」を建学の精神とし、仏教系大学として長い伝統と歴史を有している。

この本学のあり方を研究において具現化するために、多様な分野と仏教が連携あるいは融合した研究プロジェクトの推進及び成果創出を目的とし、「大学が政策的に掲げるテーマに合致した研究」として設定する。

3. 申請資格者

研究代表者は本学所属の教育職員（特任及び任期付を含む）であること。
なお、プロジェクト期間中に研究代表者が変更になる場合も同様とする。

4. 事業期間（支援期間）

- ・最長3年間（事業期間中に研究代表者が変更になる場合は事前に通知すること）

5. 支援額

1件につき最大800万円／年額

- ・事業計画経費を上限とする
- ・各年度の進捗状況を確認し、その結果として翌年度の予算を増額又は減額する場合がある。
※経費目安として、PDは1人当たり約500万円、RAは1人当たり約300万円（1年間）

6. 申請経費の範囲

本事業の目的・趣旨に沿って経費を申請するとともに、申請にあたっては経費の使途の有効性を十分に検討し、適切な規模の事業経費を算出すること。

また、本事業経費は、PDやRAといった研究を推進するための人件費や、基礎実験に要する消耗品などの研究基盤経費を主な使途として想定している。

7. 採択件数

2件程度（予定）

8. 応募方法（申請方法）

所定の様式に必要な事項を記入し、以下の書類を2020年10月12日（月）から10月23日（金）16:45<厳守>までに、人間・科学・宗教総合研究センター事務室に提出すること。

なお、Email及び学内便等で提出された場合は、提出書類の紛失防止のため、必ず事務局からの受領メール（送信後2日以内※土日祝除く）を確認すること。

<所定様式>

「2021年度重点強化型研究推進事業申請書」及び「研究員一覧」の記入用データファイルを下記フォルダまたはホームページから取得すること。

保存場所（事務ファイルサーバ） P:¥研究部¥重点強化型研究推進事業¥2021年度¥申請様式
研究部ホームページ <https://www.ryukoku.ac.jp/nc/news/entry-5869.html>

<提出書類>

以下の様式について①WORD版、②紙媒体版（1部）を提出すること。

なお、様式の変更、ページの追加・削除等はないこと。また、別紙追加資料についても受け付けない。ただし、研究員一覧については、構成員の数により追加・削除を認める。

- ・2021 年度 重点強化型研究推進事業 申請書
- ・2021 年度 重点強化型研究推進事業 研究員一覧

<提出先 Email アドレス>

soken@ad.ryukoku.ac.jp

9. 審査（選定方法）

研究評価委員会において、申請書に基づく書面審査を行う。

なお、必要に応じてヒアリング審査を実施する場合がある。

<審査項目及び審査の視点>

本事業における採否にかかる選考は、これまでの実績及び研究計画について、後述する評価指標①及び評価指標②に基づき判断する。

【評価指標】

○評価指標①

大学の特色を活かした高度な研究内容であるか、世界的展開を目指す内容であるか、地域社会への貢献を可能にする研究であるか、学術的独創性・創造性があるかなどを、総合的に評価する。

○評価指標②

補助金事業等に申請するための社会的通用性が担保されているか判断するために、私立大学等改革総合支援事業等の私学助成における指標でも評価する。

a. 国際的連携	海外各種団体との協定／国際ジャーナル論文掲載／海外研究者との共著等
b. 社会連携	企業・自治体等との共同研究／企業・自治体等からの研究員受入れ等
c. 若手研究者育成	PD・RAの研究職就業、専門職就業／PDの科学研究費採択状況等
d. 外部資金獲得	国（科研費含む）・自治体・企業・各種団体等からの補助金／研究の事業化等
e. 大学院教育への波及効果	大学院教育との連携／新たな学術領域の創出等

○評価指標①②共通

特に以下の重点配分方針に則った評価項目を重視する。

■重点配分方針

事業目的を達成するための方策として掲げている「地域社会の発展に寄与する研究又は全国的若しくは国際的な社会の発展に寄与する研究」の評価に重点を置く。

10. 実施スケジュール（予定）

<2021 年度事業>

応募期間	2020 年 10 月 12 日（月）～2020 年 10 月 23 日（金）
審査（選定）	2020 年 11 月上旬～12 月上旬
開始時期	2021 年 4 月

11. 結果通知

2020 年 12 月中旬（全学研究政策会議で採択事業を決定し、部局長会へ報告後、申請代表者に通知する。）

12. 事業評価

研究評価委員会が毎年度事業評価を行う。

採択事業の研究代表者は、所定の報告書を作成し、指定期日までに研究評価委員会（事務局：研究部人間・科学・宗教総合研究センター事務室）に提出する。

研究評価委員会は、各取組の進捗状況や成果等について評価を行い、その結果を全学研究政策会議へ報告する。全学研究政策会議は、研究評価委員会の報告に基づいて評価結果を確定する。

13. 本件に関する問い合わせ先

全学研究政策会議（事務局：研究部人間・科学・宗教総合研究センター事務室）

<深草学舎紫光館3階>

担当：世雄

TEL：（外線）075-645-2154 （内線）6353

e-mail：soken@ad.ryukoku.ac.jp

III 本事業申請にかかるQ&A

Q 1. 本事業に採択された場合、必ずセンターを組織することになるのか。

A 1. 本事業は、研究センターを組織してプロジェクト研究を行うこととしています。

Q 2. 採択された場合、所管はどのような扱いになるのか。

A 2. 当該センターの事業期間は、人間・科学・宗教総合研究センター内の研究センターとして位置づけられます。

Q 3. センター変遷を記載する欄に関して、新規設置予定のセンターの場合は空欄でよいのか。

A 3. 空欄で構いません。

Q 4. 申請時点でセンターを組織していない場合、申請書の「センター（日本語・英語）」 「センター研究期間」「センター変遷」欄には「該当なし」と記載すればよいのか。

A 4. センター名は、申請時は仮称でもよいので、可能な限り記載してください。「センター研究期間」は1年目と記載してください。センター変遷は記載なしでも構いません。

Q 5. 支援額最大 800 万円は年額なのかそれとも総額か。

A 5. 年額です。3年間で総額最大 2,400 万円になります。

Q 6. 採用予定者が博士号を持っている場合、その人物を PD として雇用しなければならないという決まりはあるのか。

A 6. 役務に応じて RA で雇用して構いません。

Q 7. 学内便や E-mail での提出は可能か。

A 7. 可能です。なお、学内便及び E-mail で提出された場合は、必ず事務局からの受領メール（送信後 2 日以内※土日祝除く）を確認してください。

Q 8. 提出窓口はどこか。

A 8. 研究部（深草、瀬田）、人間・科学・宗教総合研究センター事務室、世界仏教文化研究センター事務部で受け付けます。

Q 9. 申請は共同研究を想定しているのか。個人でも申請可能か。

A 9. 個人での申請も受け付けますが、本事業では、複数の研究者でプロジェクト研究を行うセンターを

想定しています。

Q10. 「これまでの実績」とあるが、申請者の研究実績を指すのかそれとも既存センターの実績を指すのか。

A10. 原則、既存センターの実績を記載していただきますが、新規の場合は、申請者の実績及びグループメンバーの実績を記載してください。

Q11. 研究業績の公表に Scopus や Web of Science を利用しているので、Researchmap のアドレスは掲載しなくてもよいか。

A11. 申請書には、Researchmap のアドレスを記載してください。その上で Scopus や Web of Science 等のアドレスを記載していただいても構いません。

Q12. 「大学が政策的に掲げるテーマ」について、2019 年度は「仏教と他分野をつなぐ研究」としていたが、2020 年度は「多様な分野と仏教をつなぐ研究」と改めている。どのような意図で変更になったのか。

A12. 人間・科学・宗教総合研究センターの設置目的に鑑み、本学の多様な分野の研究が、仏教に関する研究と連携することで、本学の特色ある研究につながることを期待し、表現を改めてよりわかりやすくしました。

以上